

科目名	言語学特殊研究	担当者	オオカワ 大川 ヒデアキ 英明	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>ゲシュタルト的な知覚，視点の投影・移動，カテゴリー化などの人間が持つ一般的な認知能力の反映として言語を捉えることによって，人間と言語の本質を探究する認知言語学についてその考え方を理解し，同時にこの枠組みによる言語分析の方法を学び，理解を深めることを目的とする。また，日常言語の意味と概念体系は知覚，空間認知，運動感覚，体感，等の身体的な経験と心的イメージをはじめとする人間の想像力に根ざしているという言語観を背景とする認知意味論を枠組みとして，言葉の創造性に係わる意味の諸相に関係する分析と記述について理解することと分析能力を養うことを目的とする。</p>		
到達目標	<p>教材を通して認知言語学の中核的な概念である「カテゴリー化」「メタファー」「イメージスキーマ」等についての考え方の理解を深めると同時に，分析の仕方を養うことを目標とする。更に，認知意味論の視点から意味の世界の探求方法を理解し，これらの分野における言語観察，分析，議論ができるようになることを目標とする。</p>		
学修方法	<p>①教材の内容を十分理解し，認知言語学，認知意味論の考え方を把握する。 ②レポートは理解から分析へと移行していくので，最終レポートを目指して，理解，考察，分析，まとめる能力を磨いていくことを期待する。 ③認知言語理論に基づく論文は数多く公開されているので，教材以外にもこの領域の論文を読むように努める。</p>		
スケジュール	<p>【前期】 レポート課題1 締切： 6月15日           レポート課題2 締切： 8月31日 【後期】 レポート課題1 締切：11月15日           レポート課題2 締切： 学事暦記載の課題提出締切日</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80 %	1) 教材の理解度 2) レポートの構成 3) 論理的展開 4) 分析力 5) 学術論文としての体裁が整っているか
	平常評価	20 %	1) 課題への取り組み 2) 学習姿勢 3) 質疑応答の内容
履修者への要望	<p>①レポート作成の作業に入る前に，題材・テーマなどについて，教員と相談すること。 ②日常生活で接する様々な言語現象に注意を払い，言語分析しようとする態度を養うことを期待する。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 大堀 寿夫 教材名： 『認知言語学』（東京大学出版会，2002年）ISBN:978-4130820080 3,000円+税
	本教材では、認知言語学の枠組み内で「カテゴリー化」「メタファー」「構文知識」といった認知言語学の主要な概念を体系的に説明し、さらにこの分野を文化人類学、発達心理学のような隣接領域との関わりからも展望することによりこころの働きを理解しようとしている。
参考図書	舛山洋介『日本語研究のための認知言語学』（研究社，2014）ISBN: 978-4327384685 2,000円+税 辻幸夫『新編 認知言語学キーワード事典』（研究社，2013）ISBN: 978-4767434766 4,300円+税
履修上のポイント	認知言語学の考え方、分析対象の範囲、分析方法を理解する。特に「カテゴリー化」「メタファー」「構造知識」「文法化」等についての理解を深める。
レポート課題 1	教材の第6章までの範囲の内容をまとめ、認知言語学とはどのような理論かを論じなさい。（3,000～4,000字） <b>留意点：</b> 年度後半の課題を視野に興味のある認知言語学の論文探しを意識しながらこの課題に取り組むこと。
レポート課題 2	認知言語学の枠組みによる論文を選び、その論文について要約しなさい。（3,000～4,000字） <b>留意点：</b> 年度後半の課題を視野に興味のある認知言語学の論文を探し始めるとともに、今回の論文を探すこと。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 山梨 正明 教材名： 『認知意味論研究』（研究社，2012）ISBN：978-4327401627 2,800円+税
	本教材は認知意味論の視点から日常言語の意味の世界の分析を試みている。特に、日常言語の意味発生のメカニズムと概念体系の諸相を、「イメージ形成」、「イメージ操作」、「メタファー写像」、「ゲシュタルト変換」、等の人間の創造的な認知能力との関連で考察している。
参考図書	『新編 認知言語学キーワード事典』（研究社，2013）ISBN: 978-4767434766 4,300円+税
履修上のポイント	認知言語学の基本的な研究成果を理解した上で、「イメージ能力と概念体系の創造性」「日常言語の意味の発現と概念体系」「身体的レトリックと言葉の創造性」「日常言語におけるレトリックの複合性」等を中心に認知意味論的アプローチの理解を深める。
レポート課題 1	認知言語学の枠組みによる論文を選び、その論文について要約すると同時に、自分の意見を加えなさい。（3,000～4,000字） <b>留意点：</b> 論文は1篇でも、それ以上でもよい。
レポート課題 2	認知言語学が扱う問題に関係する言語現象または分析・理論を選び、関連する先行論文をいくつか読み、認知言語学の枠組み内で自分なりの議論をするか、または批判的な議論をしなさい。（3,000～4,000字） <b>留意点：</b> 1年間の集大成としての内容を期待する。

科目名	言語学特殊研究	担当者	ホサカ 保坂 ミチオ 道雄	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座の目的は、日英語の統語現象について、生成文法の知見と機能統語論の知見を用いて、いかに有効な説明が可能であるかを検討するものである。両理論は一見対局に存在するように見えるが、必ずしも相容れない理論体系ではなく、相互補完的な関係にあることを、日英語の言語事実の詳細な分析を通して、考察していく。</p>		
到達目標	<p>本講座では、まず、生成文法の基本的知識と機能統語論の基本的知識の習得を行い、それぞれの理論に基づき、実際の言語現象を自らの言葉で説明できることを到達目標に据える。それにより、最新の研究論文をも理解できる力の育成が可能となる。</p>		
学修方法	<p>各教材を精読することはもとより、参考図書もしっかりと踏まえ、与えられた課題を確実に達成することができるように、余裕を持って学習の時間を割り当てること。</p>		
スケジュール	<p>各テキストの内容に従って、勉強を進め、レポート課題に済み次第、速やかに提出し、添削指導を受けることとする。なお、各レポート課題の最終提出前に、2回以上の指導を受ける必要がある。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	60%	最終提出レポートの評価
	平常評価	40%	事前提出レポートに関する評価
履修者への要望	<p>言語学特講（旧カリキュラム 比較言語学特講）を受講していることが望ましい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： Susumu Kuno and Ken-ichi Takami 教材名： <i>Grammar and Discourse Principles</i> University of Chicago Press 1993 ISBN:978-0-22-646204-2 5,437 円+税 (Paperback)
	本授業では、基本教材の第3章 (Multiple <i>Wh</i> Questions)を中心に、英語と日本語のWH 移動について、生成文法の観点と機能文法の観点を比較して、考察を行う。特に、生成文法では、GB 理論の理解が不可欠となるため、下記の参考図書をしっかりと学習して、本教材を理解するための基礎的知識を身につけることが肝要である。
参考図書	中村捷, 金子義明, 菊地朗『生成文法の新展開』(研究社, 2001年) ISBN:978-4-32-742155-7 3,000 円+税 アンドリュー・ラドフォード『入門ミニマリスト統語論 (新版)』(研究社, 2006年) ISBN:978-4-32-740142-9 3,800 円+税
履修上のポイント	本授業の目的は、下記の日英語の文法性の違いについて、生成文法及び機能文法の観点から、どのような説明が有効であるかを、検討するものである。 (1) a. Who bought what? b. *Who came why? (2) a. Dare ga nani o katta no. b. Dare ga naze kita no.
レポート課題 1	生成文法の観点から、第3章の日英語の Multiple <i>Wh</i> Questions について、如何なる説明が可能であるかを論じなさい。 <b>留意点</b> ：例文は、テキストのものを利用して構いませんが、参考図書もよく参照して、論じてください。
レポート課題 2	機能文法の観点から、第3章の日英語の Multiple <i>Wh</i> Questions について、如何なる説明が可能であるかを論じなさい。 <b>留意点</b> ：生成文法の説明との相違点を明確にして、論じてください。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： (1) Susumu Kuno and Ken-ichi Takami 教材名： <i>Grammar and Discourse Principles</i> University of Chicago Press ISBN:978-0-22-646204-2 5,347 円+税 著者名： (2) Belletti, A. and L. Rizzi (1988) 教材名： "Psych-Verbs and $\theta$ -Theory," <i>Natural Language and Linguistic Theory</i> 6:291-352 <b>(入手方法の指示あり)</b>
	本授業では、基本教材の第5章 (Psych-Verbs, Binding Theory, and Quantifier Scope)を中心に、英語の照応形の適格条件に関して、考察を行う。なお、教材(2)については、授業開始後に、入手方法を指示する。また、GB 理論と久野・高見の機能的統語論の観点が重要となるため、下記の参考文献をしっかりと学習して、本教材を理解するための基礎的知識を身につけることが肝要である。
参考図書	中村捷, 金子義明, 菊地朗『生成文法の新展開』(研究社, 2001年) ISBN:978-4-32-742155-7 3,000 円+税 アンドリュー・ラドフォード『入門ミニマリスト統語論 (新版)』(研究社, 2006年) ISBN:978-4-32-740142-9 3,800 円+税 Susumu Kuno <i>Functional Syntax</i> University of Chicago Press 1987 ISBN:978-0-22-646201-1 (Paperback)
履修上のポイント	本授業の目的は、下記の日英語の文法性の違いについて、生成文法及び機能文法の観点から、どのような説明が有効であるかを、検討するものである。 (1) a. Pictures of himself <sub>i</sub> don't bother John <sub>i</sub> . b. *Pictures of himself <sub>i</sub> , don't portray John <sub>i</sub> well. (2) To John <sub>i</sub> 's disgust, a story about himself <sub>i</sub> in the Boston Globe portrayed him <sub>i</sub> as a small-town politician.
レポート課題 1	教材(2) ("Psych-Verbs and $\theta$ -Theory")の内容をまとめ、生成文法の観点から、照応形の適格条件を説明しなさい。 <b>留意点</b> ：教材(1)も参考にすること。
レポート課題 2	機能文法の観点から、照応形の適格条件を説明しなさい。 <b>留意点</b> ：生成文法の説明との相違点を明確にして、論じてください。